

第8回 京滋知事懇談会の概要について

- 1 日時：平成19年11月22日(木) 14:00～14:50
- 2 場所：京都府公館
- 3 出席者：滋賀県 知事 嘉田由紀子 政策調整部次長 瀬古良勝
京都府 知事 山田 啓二 企画監 井上 元
- 4 懇談概要

環境分野

地球温暖化対策の推進

山田知事： CO2の10%以上の削減には、ライフスタイルや社会経済のしくみ自体の変革が必要で、自治体の連携強化は不可欠

嘉田知事： 地球環境問題は、自分たちの問題として考えていただくことが難しい。生活圏が両府県にまたがる人が多く、生活者の視点からも連携は意味のあること。

文化・交流分野

源氏物語千年紀事業への参画

嘉田知事： 平安時代より後は男社会が続いたが、暮らしを重視する成熟社会では「女性力」が大切。首都圏にはできない、近畿圏からの発信を共に行えれば。

山田知事： 京都府内で展開する「源氏物語千年紀委員会」の事業とも連携いただき、一緒に千年紀の機会を盛り上げて行きたい。

広域的な地方制度のあり方研究

山田知事： 財政効率化とより高度なサービスの提供、という観点から京滋での事業の統合を考えたい。たとえば新任研修で学ぶ公務員としての「心構え」は共通。また、若い頃ころから仲間意識を持てればよい。共同実施してはどうか。

嘉田知事： 効率化とサービス向上は重要、大いに可能性を追求したい。両知事が並ぶ研修は、比較しながら相対的に見ることができる。さっそく取り組みたい。

(「新任研修における連携」を新たに合意)

くらし 分野

若い世代への食育推進

山田知事：ともに自然の産物にも恵まれた地域でもある。

嘉田知事：食は生活の規律を作るし、医食同源とも言う。

子育て支援に係る広域連携の推進

嘉田知事：少子化は日本が直面する大きな課題で、社会存続の危機。生活圏が重なる京滋で子育て支援が充実すると、女性が社会に進出できる。

山田知事：高齢化の中、施策が高齢者支援にシフトしがち、地域や企業も一丸となって、社会全体で子育てを支援・ケアする必要がある。認証制度や、頑張っている企業のサポートなどを統一できないか。

（共同での事業推進に向け、「担当部局同士の情報交換」を新たに合意）

原子力発電所の安全対策・防災情報の共有化

嘉田知事：福井県の隣接府県同士、引き続き訓練等を一緒にしていきたい。

山田知事：花折断層も両府県にまたがる。住民レベルの自助・共助の繋がりは当然として、行政同士も連携が必要

経済 分野

新名神高速道路の整備

嘉田知事：亀山～大津間の開通が近づいたが、繋がらないと効果が発揮できない。

山田知事：東京～名古屋間には三本ある高速道路が、草津より西は一本だけ。

次回の懇談会は、滋賀県で開催予定